

危機に備える安全・安心な島づくり ～治水・防災対策の推進～

治水・防災対策の推進

1 事業の趣旨・目的

- ・甚大な被害をもたらした平成16年台風23号及び平成23年台風15号を踏まえ、河道拡幅や河床掘削等を実施して、治水安全度の向上を図り、再度災害を防止する。
- ・異常気象等により頻発する水害・土砂災害等から県民を守るため、被害を未然に防止する防災施設整備(ハード)と、河川水位や土砂災害等の情報提供の充実(ソフト)を推進する。

<主な事業>

◇三原川水系: 広域河川改修事業・排水機場改築

◇志筑川水系: 床上浸水対策特別緊急事業・広域河川改修事業

◇三原川水系: 広域河川改修事業・排水機場改築

1 計画概要

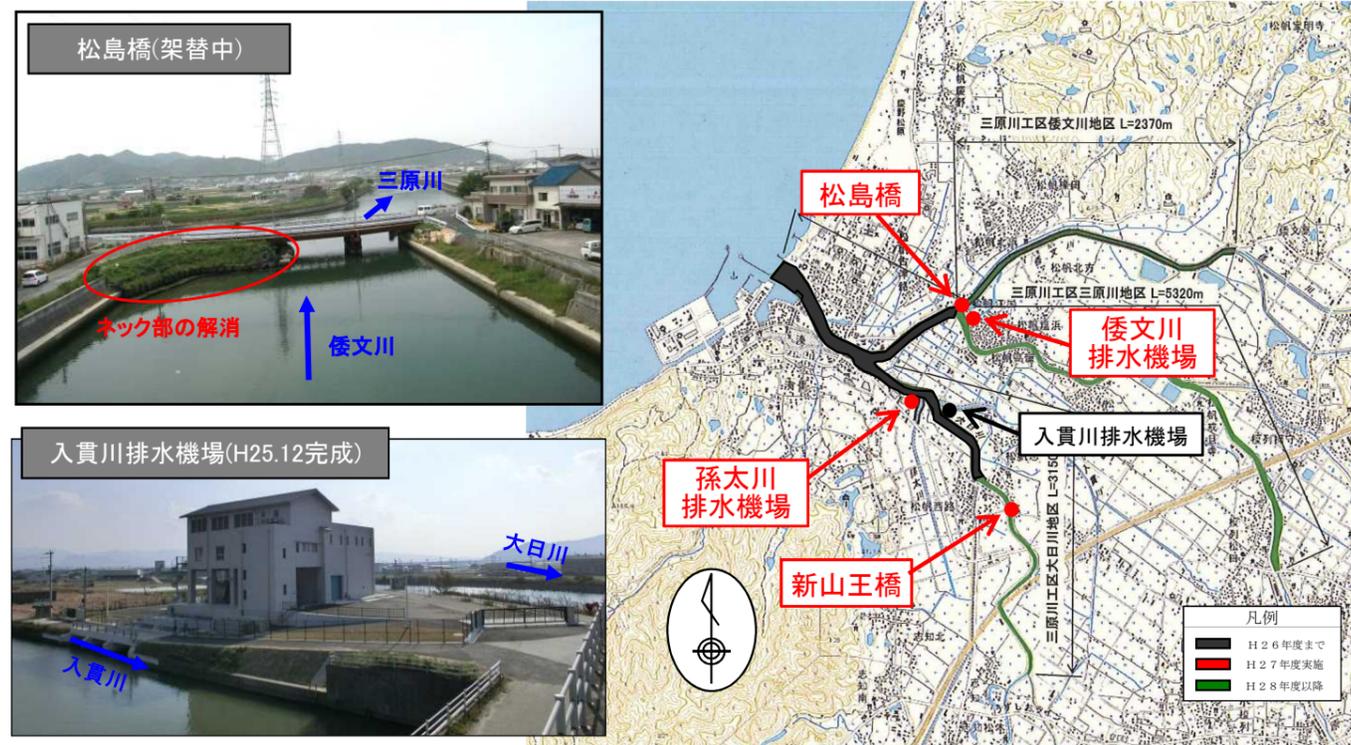
- ①広域河川改修事業: 昭和54年台風16号と同規模の洪水を安全に流下
 - ・事業延長: 三原川5,320m、倭文川2,370m、大日川3,150m
 - ・事業期間: S55～H50
 - ・事業費: 189.6億円
- ②排水機場改築: 排水機場の改築、更新
 - ・入貫川排水機場の改築(吐出量6.6m³/s→16.8m³/s)
 - ・孫太川、倭文川排水機場の更新(吐出量は既設と同じ)
 - ・事業期間: H21～H33
 - ・事業費: 67.1億円

2 事業進捗状況

- ①広域河川改修事業 ◇事業進捗率: 64% (H28年3月末時点)
- ②排水機場改築 ◇事業進捗: 入貫川排水機場はH25年12月完成

3 平成27年度実施

- ①広域河川改修事業
 - ・倭文川: 松島橋架替(上部工)、大日川: 橋梁設計(新山王橋)
- ②排水機場改築
 - ・孫太川及び倭文川排水機場: 年点検及び修繕



◇志筑川水系: 床上浸水対策特別緊急事業・広域河川改修事業

1 計画概要

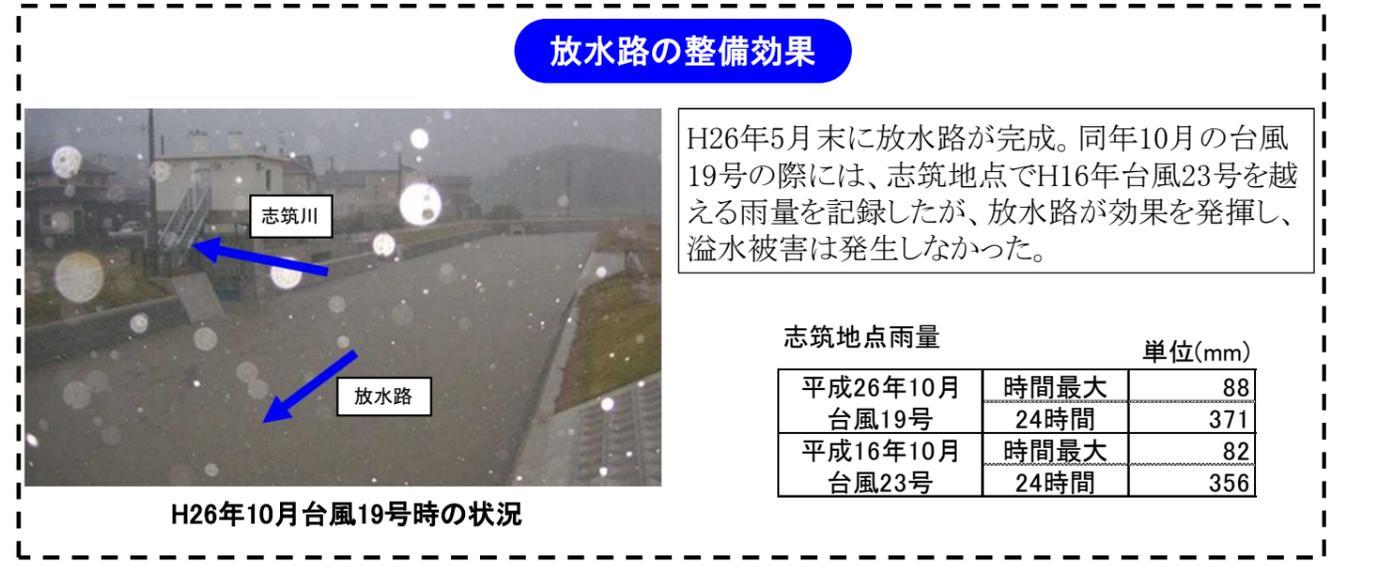
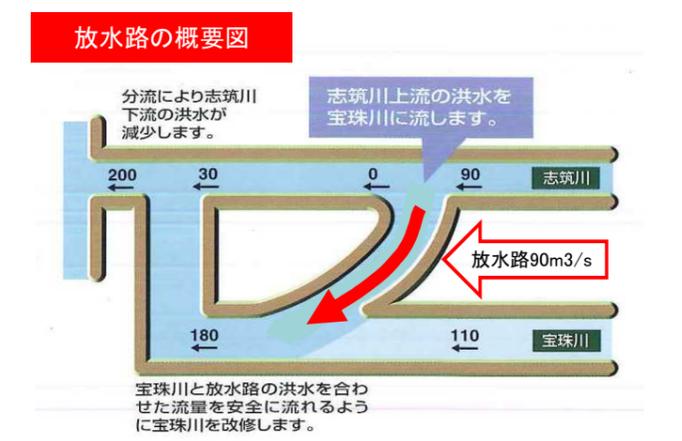
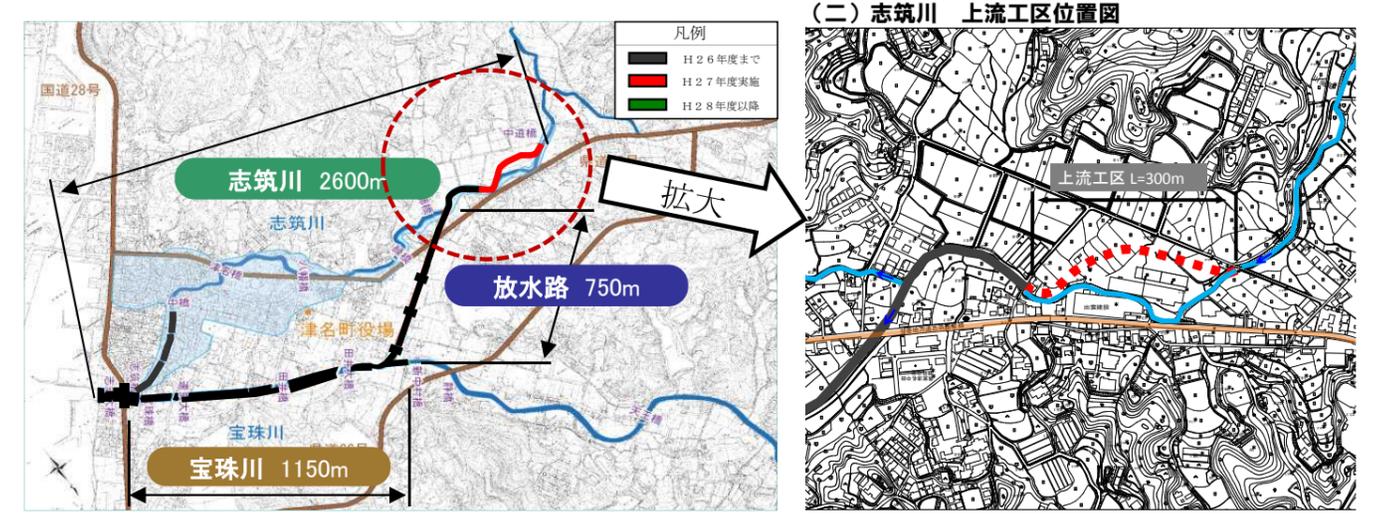
- 平成16年台風23号と同規模の洪水を安全に流下
 - ・事業延長: 志筑川 2,600m及び宝珠川 1,150m(河道拡幅、河床掘削等)、放水路新設 750m
 - ・事業期間: H18～H28
 - ・事業費: 73.6億円

2 事業進捗状況

◇事業進捗率: 93% (H28年3月末)

3 平成27年度実施

- 志筑川上流工区(橋梁上・下部工、用地補償)



津波防災インフラ整備計画の推進

1 事業の趣旨・目的

- ・淡路島は、南海トラフ巨大地震に伴い発生が予想される最大クラスの津波の最前線にあり、県下でも津波の到達時間が最も早く、津波水位も最大となる。そのため、迅速かつ的確な対策を実施するため「津波防災インフラ整備計画」に基づき効果的かつ効率的な津波対策を計画的に推進する。
- ・レベル2津波等により、甚大な浸水被害が想定される福良港、阿万港、洲本地区を「重点整備地区」に設定し、全ての津波対策を10年間（平成35年度まで）で完了させる。

2 整備目標等

地区名	整備目標	津波水位 (上段 L1、下段 L2)	既存 防潮堤高さ
洲本地区	レベル1津波を防潮堤・水門で防ぎ、 レベル2津波の浸水被害を軽減	T.P.+2.0m T.P.+2.8m	T.P.+2.6～4.1m
阿万港		T.P.+5.8m T.P.+5.9m	T.P.+5.0～6.5m
福良港	レベル1津波、レベル2津波に関わらず、避難 を前提に浸水被害を軽減	T.P.+5.3m T.P.+8.1m	T.P.+2.95m

3 対策内容

地区名	対策	事業量	年度工程		整備済み	27年度実施
			25-30	31-35		
洲本地区	陀仏川水門の整備	1基			—	事業評価
	防潮堤の越流対策	0.7km			—	L=300m
	防潮堤の沈下対策	0.2km			—	—
阿万港	本庄川水門の整備	1基			基本設計	測量、詳細設計
	防潮堤の整備	0.7km			L=130m	L=320m
	陸閘の新設・自動化	3基			—	—
福良港	防潮堤の越流対策	1.1km			L=420m	L=320m
	湾口防波堤の整備	1.1km			—	測量、土質調査、 基本設計
	防潮堤の越流対策・引波対策	3.7km			L=1,730m	L=240m
	防潮堤未整備区間の整備	0.8km			L=60m	L=70m
	陸閘・水門の 閉鎖操作の自動化	34基			30基	—



レベル1津波 発生頻度が高い津波
OM8.4（安政南海地震並み）
○概ね100年に1回発生

レベル2津波 最大クラスの津波
OM9.0クラス
○発生頻度は極めて低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす。

凡 例	
■ 防潮堤	整備済み
■ 防潮堤	H27整備箇所
■ 防潮堤	未整備箇所
■ 越流対策	整備済み
■ 越流対策	H27整備箇所
■ 湾口防波堤	防波堤
■ 水門	水門



4 津波対策効果

地区名	堤内地浸水面積	人家部浸水深
洲本地区	L2津波 9割縮減(103ha→13ha)	避難行動可能な概ね0.3m未満に低減
阿万港	L2津波 4割縮減(194ha→113ha)	概ね1m未満に低減
福良港	L2津波 2割縮減(119ha→91ha) L1津波 5割縮減(95ha→50ha)	L1津波については、概ね1m未満に低減

※人家部浸水深を概ね1m未満に低減することで、木造家屋の全壊がほとんど生じない

